

社会福祉法人真正福祉会広報誌

しんせい

題字・仲地正雄会長

2018年(平成30年)
12月1日発行発行責任者
社会福祉法人真正福祉会
理事長 仲地 賢

晩秋号

2018.12 Vol.9



理事長巻頭言

社会福祉法人真正福祉会
理事長 仲地 賢

歪んでいく日本社会

2020年のオリンピックを目前にして、不安はこれ以上なく広がっている。前号(8号)で、日本の大企業に蔓延する不正を取り上げたばかりだが、今回は、免震装置(オイルダンパー)の検査データを15年以上改ざんしていたという不正が発覚、いざという時の安全・安心に関わる極めて悪質な不正であるので、日本社会の凋落ぶりは深刻である。

また、マスコミで話題にならない日はないくらい連日報道されたスポーツ界の不正はその後も続々発覚、オリンピックまで2年を切ったというのに、まだまだ終わりそうにないのである。

そのような中、日本の自動車メーカー最大手で、一時経営危機に陥った日産自動車の救世主として啓意を集めていたカルロス・ゴーン会長が、金融商品取引法(有価証券報告書の虚偽記載)容疑で逮捕されるという衝撃的なニュースが飛び込んできた。報道によると、ゴーン容疑者は、2015年度から5年間、報酬が実際

は99億9800万円であったがその半分程度しか申告しなかった疑いが持たれているという。

企業やスポーツ界の不正は、いわば一般市民レベルだが、閣僚・官僚の不正(不適切発言等含む)となれば事態はより深刻であり、日本の将来が全く見通せなく希望を見出すのが困難であると言わざるを得ない。つまり、「森友」「加計」問題をはじめ、原発神話、アメリカ追随の政策(農業切捨て、核兵器禁止文書への反対等)が目立ち、主要国から日本は自分の意見を持たない情けない国と見られてしまっているのではないだろうか。

実際、国の幸福度と報道の自由度はリンクしており、国連の調べで2018年の幸福度ランキングは54位。上位は北欧で占めており中南米やアフリカ諸国より低い。一方、報道の自由ランキングは67位と先進国の中では最も低く、やはり北欧諸国が上位である。街並みはどこも整備されてきれいな日本だが、住んでいる人が思うほど幸せを感じず報道の自由も規制されているというのなら、言い換えれば内閣の横暴さが際立ち、弱い国民(県民)を無視し、強国に寄り添う日本のリーダーの姿勢がもたらした結果と言えよう。

もくじ

法人広報誌「しんせい」8号理事長巻頭言	1ページ
特集 子ども・子育て支援新制度を検証する	2ページ
金子耕武先生子育て講演会・論語コーナー	3ページ
ドリーム保育園・美ら咲保育園	4ページ
風のわ保育園・どリーむはうす	5ページ

Contents

職員・卒園児リレーコラム	6ページ
子ども達のおもしろエピソード	7ページ
小説「あしあと」	7ページ
新規採用職員紹介・結婚出産おめでとう	8ページ
わったーシマを知ろう!・編集後記	8ページ

特集

子ども・子育て支援新制度を検証する

今回の特集は、2015年4月にスタートした「子ども・子育て支援新制度」(以下 新制度)について、今一度検証することにした。今後の国の動向を注意深く見守り、更なる制度改革の動きがあった場合、改正ではなく改悪になると予想されれば、素早く国に陳情していく上での制度の確認と現状把握をする意味で、新制度の検証を行いたい。

新制度の検証は、高い見識をもつ専門家の著書からの抜粋とした。著者名・著書名を明記し新制度を振り返ることとした。

〈逆井直樹氏「子ども・子育て支援新制度 活用・改善ハンドブック」より〉
『新制度は何を変えようとした「改革」だったのでしょうか? 細かい点をのぞくと、その柱は、①従前の保育所制度の解体であり、②原則的にすべての保育所を「認定こども園」に移行させるという、2つの提案にあったといえます。第1の柱は、従前の保育所制度の基本といえた市町村責任による保育の提供方式を改め、高齢者福祉分野における介護保険の利用方式と同じように、保育分野を市場化することになりました。具体的な「改革」の焦点は、市町村の保育実施責任を規定した児童福祉法24条1項の存否です。新制度のねらいは、これを廃し、保育の利用を当事者同士(事業者と利用者)の直接契約に委ねることにありました。第2の柱は、保育施設を総合こども園に一体化することになりました。この提起には、批判や異論が噴出しました。特に、直接契約の導入については、困難を抱えた子どもが契約を忌避され、安定的な経済状態の家族が優先されることになるとの批判が集

中しました。その結果、2012年の新制度関連法の成立時に、自民・公明・民主3党による修正協議がなされ、以下のような変更が加えられたのです。第1に、保育所については市町村責任の維持が確認され、廃止されるはずだった児童福祉法24条1項が復活しました。…以下略』

〈田村和之氏「待機児童ゼロ 保育利用の権利より」〉

『新制度実施後3年がたち、その問題点や課題が見えてきている。最大の問題は、新制度のもとでも待機児童が大量に生まれ、無くなっていないことである。2016年春の匿名ブログへの書込み「保育園落ちた、日本死ね」が、衝撃をもって受け止められ、「待機児童ゼロ」は、大きな政治的社会的な課題となっているが、いっこうに実現していない。…新保育制度を形づくる、改正された児童福祉法や認定こども園、新法である子ども・子育て支援法(いわゆる子ども・子育て支援関連3法)は、途方もなく複雑・難解であり、これを正確に理解し問題点を明らかにすることは、法学研究に従事する者にとっても容易でない。』

〈伊藤周平氏 同〉

『…以上のことをみても、新制度が、子育て支援の充実や待機児童解消を目的とした制度ではないことがわかる。新制度導入の目的は、従来の保育制度(市町村委託・施設補助方式、自治体責任による入所・利用の仕組み)を解体し、介護保険と同じ給付金方式に転換することにあった。…同時に、新制度では、保育所以外に、認定こども園や地域型保育事業も給付対象とすることで、多様な施設・事業が並存する仕組みとなった。

…新制度における保育の利用の仕組みには、いくつかの法的問題がある。まず、市町村の行う利用調整の仕組みの法的性格が問題となる。保育所の場合には、市町村が保育の実施義務を負い、市町村と保護者・子どもとの契約という利用方式がとられているため、市町村に利用の申込を行い、市町村が定員超過の場合には選考を行い、利用決定を行うことに問題はない。しかし直接契約施設・事業を利用する場合には、保育所の利用と同じく、「保育の利用」とひとくくりにされているが、市町村は利用契約の当事者ではない。利用契約はあくまでも直接契約施設・事業者と保護者との間に結ばれるものであり、定員超過の場合の選考も、利用契約の締結(利用決定)も直接契約施設・事業者が行うべきものである契約当事者ではない。それゆえに利用契約の締結権限をもたない市町村が、利用の申込について一括して受け付けることはありうるにしても、定員超過の場合の選考まで実施し、事実上の利用決定を行うことは、法的には説明ができない。』

紙面の関係で新制度問題についてはこの位にするが日本の未来を誰に託すのか、当然、日本に住む日本の子どもたちであるはずだ。しかし子どもにかかる予算はOECD24か国中22番目という低さで(しんせい2号あとがき参照)専門家に言わせると、国は子育てから手を引いたという状況が確かに垣間見られる。かつてない子育て後進国になっている日本の保育制度(予算、最低基準等)を保育者はせめてOECD諸国の平均値まで近づける運動を、今後も粘り強く行っていかななくてはならない。

金子耕式先生 子育て講演会

日時：平成30年9月15日(土) 場所：ドリーム保育園2Fホール



現在、ラジオ沖縄「金子耕式のファミリー・トーク」でご活躍中の金子耕式先生による講演会がドリーム保育園で開催されました。

会場には法人の職員や、子育てに関心を持つ保護者の方々に参加いただきました。講演会の中で金子先生は、子育てに必要な「3つの柱」を軸に話をされました。その土台となる“愛情”は、現代では家族団らんの機会が少なくなり、なかなか親から子に伝わりにくくなっている現状を伝えています。日ごろから子どもとスキンシップを図ることが重要であるという言葉で、改

めて子どもとしっかり向き合う大切さに気づかせてくれました。

2つ目の柱は“時間と感動の共有”であるとし、子どもの好きなことや趣味と一緒に共有すること、親子の心の糸と一緒に震わせることが大事だとお話されました。3つ目には“親のリーダーシップ・権威”が必要だと話し、いわゆる放任主義ではなく、親が子の良いところを刺激し、努力を支えてあげるべきだとアドバイスをくださいました。2時間の講演の中で、子育てのヒントを分かりやすく、楽しく紹介してくださいました。

最後はギターでの弾き語りを披露して下さり、会場全員で大合唱！素敵な時間と感動を共有することができました♪



論語コーナー 其の六

最近、園の業務や私保連の業務が忙しく、月二回の論語塾が思うように実施できていません。論語はもちろんまだどの園でも指導されていますが、古典の良さを可能な限りこれからも子どもたちに伝えていきたいと思っています。

今回紹介する章句はこれです

子曰く、君子は言に訥にして、行いに敏ならんことを欲す。

しいわく、くんしはげんにとつにして、おこないにびんならんことをほつす。

(意訳) 先生がおっしゃった。よき人は、口数を少なくし、行いは素早くありたい。

立派な人のことを聖人君子といいますが、口数が少ない人が良いと聞かれますが、楽しいおしゃべりならいくらやっても良いと個人的には思うのですが……。

また次回をお楽しみに！

ドリーム保育園

所在地：〒905-0228 沖縄県国頭郡本部町伊野波438-1
 代表者：園長・仲地 賢 園児数：定員80名(現員92名)
 業務内容：通常保育、延長保育、子育て支援拠点事業すばる

電話番号 0980-47-3602 F A X 0980-47-6205

保育時間：通常保育 7:30～18:30 延長保育 18:30～19:30



【楽しかった夕涼み会】

7月7日(土)第34回ドリーム保育園夕涼み会が開催されました。保護者会長を中心に、お父さんたちと職員の見事な連携プレーのもと完成したやぐらはとても素晴らしいものになり、提灯の灯かりが点いた時には子ども達のテンションも上がり楽しい夕涼み会を迎えることが出来ました。

この日のために練習を頑張った子ども達、可愛い浴衣や甚平を着て可愛く・かっこよく変身したことで緊張しながらも頑張る事が出来、お父さんたちが作ってくれたやぐらの上で輝いていました。

かき氷をととても楽しみにしていた子ども達は、頑張ったらかき氷がもらえることを楽しみにしていました。夕涼み会が始まる前から「何味食べる～？」と話している姿はとても微笑ましかったです。

お父さんたちが体を張った楽しい保護者余興や迫力のある花火も見応えもあり、特に最後のナイアガラの花火は歓声のもと大成功を収めました。協力してくれた保護者の皆さま誠にありがとうございました。保護者ならびに美人アナウンサーの盛り上げ上手な進行のおかげでみんなが楽しめた夕涼み会でした。また来年も楽しい夕涼み会にしましょう！



美ら咲保育園

所在地：〒905-0211 沖縄県国頭郡本部町東151-2 電話番号 0980-47-7615 F A X 0980-47-7616
 代表者：園長・當銘 巧 園児数：定員60名(現員68名)
 業務内容：通常保育、延長保育 保育時間：通常保育 7:30～18:30 延長保育 18:30～19:30



【夕涼み会】 7月28日(土)、夕日の光が徐々に弱まり涼しくなってきた頃、第15回美ら咲保育園夕涼み会が開催されました。

園庭には焼き鳥やたこ焼き、沖縄そばにわたあめ、チョコバナナとたくさんの屋台が並び、小さな夏祭りのような雰囲気にも子どもたちもウキウキ。ピージャーズさんによる演奏でステージが始まると、次々に子どもたちが可愛いダンスを披露し、会場は和やかな雰囲気に包まれます。

プログラムは続き、キレイのいいダンスを披露してくれたもっとぶる、舞台上でも仲の良い姿が微笑ましい東民舞会、響樂の迫力のあるエイサーで、会場

は大盛り上がり。

そして毎年恒例、フィナーレの花火！会場は笑顔に包まれ、子どもたちのキラキラした目が印象的でした。

数日前の準備から最後の片付けまで、多くの保護者の方々の協力により子どもから大人まで楽しめる素敵な夕涼み会となりました。本当にありがとうございました！



風のわ保育園

所在地：〒905-0217 沖縄県国頭郡本部町浦崎 7 4 0 電話番号 0980-48-3170 F A X 0980-48-2400
 代表者：園長・宮里健子 園児数：定員 60 名(現員 67 名)
 業務内容：通常保育、延長保育 保育時間：通常保育 7:30～18:30 延長保育 18:30～19:30



【七夕会～園全体での食育】

食育の取り組みとして、園では『栽培』『収穫』『クッキング』『食べる』を年間通して行なっています。今年度の七夕会は厨房が中心となり企画した『そうめんがし』、おやつでは異年齢児合同『かき氷祭り』を紹介します。

『そうめんがし』は、真剣な顔で、いつ何が流れてくるかドキドキしながら見つめる姿や、そうめんが取れて喜んで何度も食べる姿が見られました。

『かき氷祭り』は、異年齢児交流で、同じ部屋で一緒に小さい友達の手を拭いたり、食べさせてあげる姿が見られ、初めは慣れない雰囲気緊張してい

た子ども達ですが、次第に違う味を楽しみたいと「おかわりー！」が聞こえてきました。

《厨房より》初めての『そうめんがし』は、計画から子ども達の楽しそうな風景が思い浮かび、私達もわくわくしていました。当日は子ども達の嬉しそうな顔や、そうめん・トマト・オクラ等を取ろうと箸の使い方を考える姿が見られたので、来年につなげていきたいと思っています。



どりーむはうす

所在地：〒905-0212 沖縄県国頭郡本部町大浜 850-5 電話番号 0980-47-2800 F A X 0980-47-2819
 代表者：施設長・仲地正子 利用者数：定員 25 名(現員 21 名)
 利用時間：通い・9:00～17:00 訪問・9:00～18:00 宿泊・18:00～9:00



ぐすーよー ちゅうがなびら

どりーむはうすを利用しているおばあちゃんが、『浦島太郎』の歌を、『しまくとうば』で歌っていたのを聞いた事がきっかけで、7月15日に開催された、第7回 本部町しまくとうば語やびら大会に、利用者さん、職員、職員の子供達総勢17名で出場しました。

平成21年にしまくとうばはユネスコ(国連教育科学文化機関)が消滅の危機にある言語と指定され、普及しようという活動が広がっています。歌っていたおばあちゃんに教えてもらい、歌詞表を作り、みんなで毎朝の体操時や、午後の民謡の時に練習をし

ました。しまくとうばにはやはり三線が合います。

本番では歌に合わせ、会長が三線を弾いてくれました。最後に賞状も頂き、みんな笑顔で大喜びでした！県外出身の職員も、利用者さんと会話する時に、標準語ではなく、しまくとうばで話す事で、親しみを持ってもらいコミュニケーションが取りやすくなりました。こういう所からも利用者さんに寄り添っていけると思いました。そしてみんなで楽しい経験ができて良かったです。



職員リレーコラム



金城きぬ子

(風のわ保育園 保育士歴 25 年)

何故、保育士を志したのですか？
とたずねられると、迷わず「私は
子どもが好きだから。」と答え、
保育士を仕事に、そのレールの上

を歩んできました。保育という仕事は実におもしろく、実にむずかしい。それが長年保育に携わってきた私の実感です。

保育という仕事の面白さは、子どもといることできひきおこされ、一緒に遊んでいると、自分の幼少期にくり返しタイムスリップできることや、子どもと一緒に「感じ」「喜び」時には「悲しい」ことも様々な体験ができるのは何と面白く楽しい事でしょう。子どもの屈託のないエピソードにほんわかあったかな気持ちにさせられたり、かわいい仕草や行動に成長を見たり、その成長に感動することも度々。そんな子どもの姿を見て、自分を振り返り、私が成長をさせられたことも数知れず。

保育の仕事のむずかしさとは。私事での話として、何度も壁にぶつかりました。子どもがいうことを聞

いてくれない。何をしても上手くいかない。等々。自分は保育士に向かないのではないかと思い詰めたことも度々ありました。そんな壁をのりこえたきっかけは我が子の「おかあさん。何でいつもおこっているの？笑って。」のひと言が私に前向きになれるチャンスをあたえてくれました。「保育中に子どもと一緒に笑えたらどんなに楽しいだろう。よし、明日から笑顔で生き生きしさを。」と心に決めた時から、気も楽になったように思います。あの日から、今でも「今日も一日笑顔でいられますように！」と朝、家を出るようにしています。その日の保育はメチャメチャでも子どもと笑ったことの一つや二つは絞り出せば、見つかります。「あっ！あの時笑ったな」と子どもの姿を思い浮かべると、「明日も頑張れる」私がいいます。子どもたちにとって、保育者がいつも笑顔でいることは、もっとも重要であり、これからも子どもと一緒に楽しめる時間を共有し、共に感じ、子どものありのままの姿を受け止め、充実した保育で、子どもの最善の利益につながるよう、一步一步歩んでいきたいと思っています。

卒園児リレーコラム

宮城百花さん

第3期美ら咲保育園卒

私は美ら咲保育園3期生の宮城百花です。現在名護高校2年生です。

私の保育園生の頃は、とても活発で、外で遊ぶことが大好きでした。毎日高い所に上ったり、走り回ったりして目が離せなかったそうです。

小学生では、友達を作ったり、コミュニケーションを取ったりするのは好きでしたが、唯一苦手だったのが人前に出て挨拶をしたり、リーダーシップをとることでした。

小学2年生になり「本部っ子八重さくら」という太鼓団体に入りました。台湾遠征、福岡遠征を含め、祭りで演舞したり、場を盛り上げるなどたくさんの経験をすることが出来ました。「おはようございます」と大きな声を出して礼をし、体育館に入る。それが練習のスタートでした。こういうことも苦手でしたが、全員がしっかりやっていたので、自然に当たり前になるようになっていました。

中学3年生になると最上級生になり、リーダーをやることになりました。不安はありましたが、挑戦しまし



た。また、学校では部活のキャプテン、生徒会などリーダーシップを取る場がどんどん増えていきました。中々慣れない部分はありましたが、この経験が無ければ今頃苦しんでいたと思います。「挑戦すること」は大切なことだと思います。何か苦手でも、出来そうになくてもやってみないとわからない事がたくさんあります。やって出来なくても得るものはたくさんあるので私は「挑戦すること」を大切にしています。

私は高校に推薦入試で合格しました。検定にチャレンジしたりして実績を作りました。積み重ねた経験が実を結んだと思います。今は、名護高校で勉強・部活と毎日励んでいます。勉強では生徒数が多く、進学校なので中学の時より自分の思い通りにいきませんが、成績を伸ばすため懸命に取り組んでいます。

部活動ではバレーボールをやっています。中学の時にキャプテンを経験し、大変さが分かるのでキャプテンをサポートしながら県大会優勝を目指し頑張っています。その他にも、来年は留学に挑戦しようと思っています。

これからも挑戦をやめず自分をステップアップさせられるように頑張っていきます。

子ども達のおもしろエピソード

0歳児の歩けるグループは、ハイハイグループを年下と思い、ヨシヨシする



M君 園庭遊びから「暑かったね。お水のもう。」とお部屋に入り、イスに座ると、お水片手に「かんぱーい！おつかれ～」と言。「おやじかっ！」と、つつこみました。



Y君「先生！口のぬりえ。はみだしてるよ」遊んでるうちに園児とぶつかり、口紅が大きくはみ出し



「Yちゃんのお母さんは何の食べ物が好き？」と聞くと、「みかん」「お父さんは？」「ラーメン」「Yちゃんは？」「ピーじゃー」と答え、「え！？やぎ食べるの？」と先生。ピザの間違いでした。』



ゴミを拾ったら、ゴミ箱が近くにない時、保育士に持ってくる子ども達。それを、エプロンのポケットに一旦入れていると、Rちゃん「先生って、髪の毛好きだよ。集めてるの？」「え～っっ！？違うよ」



連載小説「あしあと」 第四回

それ以来、二人の休みが取れる日に、会って映画を見たり食事したりした。真一の誕生日に、映が真一に手作りのケーキを作って遅い時間に届けたこともあった。

父の支援があったとはいえ、着実に力をつけ、まぶしいくらいに輝きを放つ真一に、映は心が傾いていった。

テレビや新聞で大きく取り上げられ、会社の業績も全く異なることを知らない勢いの中、真一はあくまで謙虚だった。むしろ、勢いが増せば増す程、真一の姿勢は慎重だった。真一が高三の夏、悲運のヒーローとマスコミで一時話題になったことも、映は真一からではなく父の壮健から聞いたのだった。

真一と会う程に、映の胸を占める真一への想いはぐくんでいった。しかし、真一を知れば知る程、真一について本当は何も知らないでいたことに気がついた。

ことに真一の家族の話題に話が及ぶと、いつの間にか本題からそれてしまふのが常であった。

映が真一の家族について知っていることは、警察官だった父親が二年前にガンで死んだことと、母親は北海道の出身で、若い頃は婦人誌のモデルとして活躍したこともある美人だったというところ、その後は苦勞して保健師の資格も取ったというところ、そして今は、新都心の高層マンションにその母親と二人暮らしだということだけである。これは全て、父壮健から聞いた真一の会社に赴いた時に古宮祥子から聞いて得た情報であった。

博物館での「オキナワアートコンサート」の日がやって来た。普段、博物館が閉館となる午後五時開場、開演は六時だった。

博物館には、歩いて二〇分もあれば行ける距離だったが、真一は三時以降の予定を空白にしていた。

「めずらしいわね、博物館でコンサートなんて。館長って、確か前の副知事だった人よね」

新聞を広げながら古宮祥子が隣の同僚に言葉をかけた。二人を中心に、しばらく博物館の話題が続いた。

「ねえ社長、社長って、考古学とか民族学、人類学とかって興味ありますか」突然古宮祥子から問われ、真一は返答に窮した。

「ないでもないけど、人並みじゃないかな」人事のように答えると、古宮祥子は、無言で真一の顔をのぞくと、何故か博物館の話題は変わっていた。

勘のいい古宮祥子に、今晩のコンサートのことを語られているのでは、という不安を抱きながらも、顔の筋肉をコントロールし、無表情でありながらも穏やかな心境でいることをアピールすることに専念していた。

県立博物館の大展示室には特設ステージが設けられ、本格的な音響機材と照明によって会場の雰囲気は、開演を待ちわびる人々の熱い期待で次第に盛り上がりを見せていた。

開演十分前の会場アナウンスで、突然内容の変更が告げられた。K A O R I が急病のため、出演中止になったのだという。

出演者が四組になったが、コンサートは予定通り行われた。四組がそれぞれ七、八曲の楽曲を演奏した後、予定にはなかったが、出演者が全員で二曲の楽曲を追加で演じた。

閉演後、BGMとして会場で流れていた楽曲は、K A O R I のオリジナル曲で、K A O R I 自ら三線を弾き、ピアノと胡弓の伴奏にのせた三分足らずの短い楽曲だった。

「足あと」というタイトルのその楽曲を静かに聴き、プログラムの余白にその歌詞を書きとめた。

コンサートの帰り道、母にショートケーキを買ったためあのコンビニに足を運んだ真一に、店員が声をかけた。

「あ、う、六月の台風の後、財布の届け物をしてくれたお音感ですよ」

「えっ、ああ、はい」

「私、あの後オーブンした系満店に行っていたもので、渡すことが出来なかったんですが、これ、財布の持ち主の女性から預かっていた手紙です」

「あ、あつちも、ありがたう」

ショートケーキを助手席に置くと、真一は手紙を開いた。

わったーシマを知ろう！

～ 沖縄芝居(うちなーしばい)の名優～



北島 角子(きたじま すみこ)

1931年5月20日-2017年4月9日

本部町具志堅区出身

父は沖縄芝居の役者で劇作家の上間昌成。1939年、家族とともに日本の委任統治下のパラオへ移住。パラオにて女学校へ進学。第二次世界大戦末期は野戦病院で看護師見習いに従事。1946年、米軍の輸送船で沖縄へ引き揚げた。名護高校を卒業ののち役者となった

- ・1981年 第36回文化庁芸術祭賞演劇部門優秀賞
- ・1996年 山本安英賞
- ・2012年 沖縄県功労者表彰(伝統芸能・工芸部門)
- ・2013年 「針突(はぢち)」ニューヨーク公演
- ・2016年 旭日双光章受章
- ・2017年 4月9日午後7時10分、腎細胞がんのため死去。85歳没。

舞 台

- ・笛吹きカナシー(儀間比呂志作、前進座)
- ・人類館(知念正真作、劇団創造)
- ・島口説(しまくどうち)(謝名元慶福作、沖縄芝居実験劇場)文化庁芸術祭賞演劇部門優秀賞受賞作品
- ・針突(はぢち)(上原直彦作、国立劇場おきなわ)他多数

ラジオ

- ・民謡で今日拝なびら(RBC i ラジオ)
- ・RBC i ラジオスペシャル(RBC i ラジオ、2014年6月23日 日本国憲法第9条のうちなーぐち朗読)

テレビ

- ・渚に死のうと書いたとき(毎日放送、1976年)

映 画

- ・パラダイスビュー(高峰剛監督作品、1985年)
- ・故郷(向井寛監督作品、1999年)
- ・愛と藍~Indigo Love~(福本幸子監督作品、2012年)
- ・ひまわり~沖縄は忘れない あの日の空を~(及川義弘監督作品、2013年)

新規採用職員紹介

どリーむはうす



濱川 敏江

(本部町出身)

小さい頃の夢

バレーボール選手

自分を一言で例えると 不器用
この施設で頑張りたいこと
何事も丁寧になりたい

どリーむはうす



我部 美奈子

(本部町出身)

小さい頃の夢

保母さん

自分を一言で例えると 怖がり
この施設で頑張りたいこと
毎日笑顔で過ごしたい

どリーむはうす



親川 真琴

(本部町出身)

小さい頃の夢

看護婦さん

自分を一言で例えると 不器用
この施設で頑張りたいこと
何事も落ち着いて対処する

ドリーム保育園



兼城 昌真

(本部町出身)

小さい頃の夢 野球選手

自分を一言で例えると

面倒くさがり
この施設で頑張りたいこと
一人でクラスをまとめられるように
頑張りたい

美ら咲保育園



島袋 麻里奈

(本部町出身)

小さい頃の夢

ケーキ屋さん

自分を一言で例えると 不器用
この施設で頑張りたいこと
子どもと信頼関係を築き、楽しいと思える保育をしたい。

美ら咲保育園



松田 祐毅

(宜野湾市出身)

小さい頃の夢

社長になる

自分を一言で例えると
子鹿のバンビ
この施設で頑張りたいこと
子どもと体を動かしてみる

子どもが生まれました

風のわ保育園



宮城明彦先生(男の子/第2子)

平成30年10月12日生

パパ似の男の子です。周りから

「イケメンだね」ってよく言われています!!

将来が楽しみです!!



結婚おめでとう♡

ドリーム保育園

宮城美波先生(旧姓山城)

平成30年9月25日に結婚しました。

旧姓は山城です。これからも子ども達のために一生懸命頑張ります。